

常なる磐

つねなる いわ seasonⅢ

令和 4年 5月 27日(金)

その2 通算 233号

◇ シリーズ【コグトレ：認知訓練】②<資料編>

宮口幸治 氏の講演タイトルは【困っている子どもたちの背景と具体的支援】。その対象は、困っている・苦しんでいる「子供たち全般」としている。

氏が「困っている子供」の傾向を背景（個人が有する状況）として示されたのが、下の<資料①>「【困っている子供の特徴】⑤点セット + ①」、さらに⑤+①の具体的状況をまとめたものが<資料①~⑤>である。

<資料①> 【困っている子供の特徴】 ⑤点セット + ①

① 認知機能の弱さ

② 感情統制の弱さ

③ 融通の利かなさ

④ 不適切な自己評価

⑤ 対人スキルの乏しさ

プラス① 不器用

<資料①> ①【認知機能（認知力）の弱さ】とは

【対策】

◆【見る力】、【聞く力】、【見えないものを想像する力】が弱い。

3つの力（能力）をトレーニングにより高める。

- ・口頭で何度伝えても、なかなか理解してもらえない。
- ・指示どおりに動くのが苦手であり、伝えたことをよく忘れる。
- ・分かっていなくても、「はい」と言ってしまう。
- ・周囲を見て、適切な行動がとれない。
- ・見落としが多く、被害的になることもある。
- ・目標を定められず、努力するのが難しい。

【対策】

情報を整理してまとめ、言語化して伝える力を高める。
感情のコントロール

◆自分の心の中で何が起きているのかが分からない。

- ・感情の言語化が苦手である。
- ・カッとなると、すぐに手が出ることもある。
- ・ストレスを自分ひとりで抱え込む→消化できずに「怒り」に変わる。

<資料③> ③【融通の利かなさ】とは

【対策】

◆思考が固い。

◆多くの選択肢がもてず、問題解決力が弱い。

選択肢を増やす=対応の引き出しを増やす
=視野を広くする

- ・思いつきでやっているように見える。
- ・予想外（想定外）のことに弱い。
- ・一つのことを考えると、周りが見えなくなる。

トレーニングにより、思考を柔らかくする。
トレーニングにより、問題解決力を高める。

